

## ビジョンの推進（評価）について

枚方市上下水道局では、令和4年3月に策定した「枚方市水道ビジョン 2022」及び「枚方市下水道ビジョン 2022」等に基づく各施策の進捗管理等を目的に評価を実施しています。

### 1. 内部評価について

#### (1) 経営評価（経年比較・類似団体との比較評価）

総務省の「**経営比較分析表**」を用いた評価とします。

「**経営比較分析表**」：総務省の公営企業の見える化を推進する取り組みとして、平成 26 年度決算から策定、公表することとなった分析表。公営企業の経営及び施設の状況を表す主要な経営指標とその分析で構成。

#### (2) 施策評価（ビジョン 2022 に基づく各施策を評価）

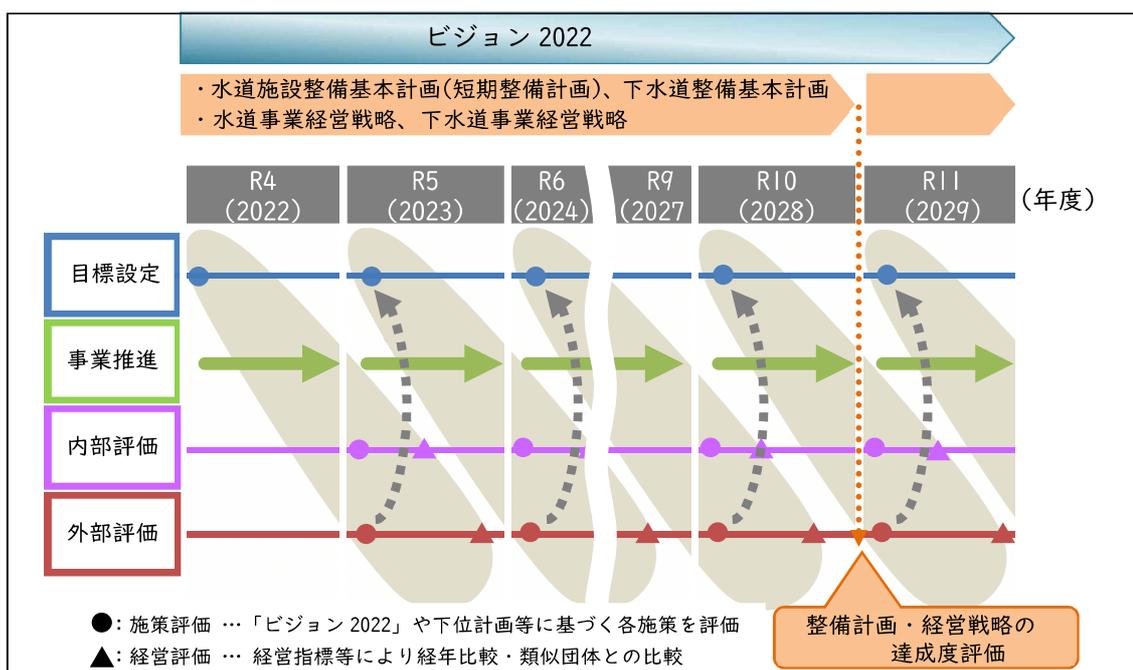
「ビジョン 2022」に掲げる基本方向や取り組みの方向性に対する指標の進捗と、具体的取組の各年度の達成状況を確認することにより評価します。

### 2. 外部評価について

上下水道局で行った内部評価に対する外部評価は、枚方市上下水道事業経営審議会条例第 2 条第 3 号「上下水道事業の経営及び事業の評価に関する事項」に基づき行うものです。

令和5年度第2回審議会では、経営比較分析表等による経営評価と施策評価（確定版）の報告により、外部評価を行います。

### 3. 評価のしくみ



【施策評価の方法】

取り組みの方向性

基本方向

		<b>③ 施策評価</b>				<b>安全（水道水の安全の確保）</b>		
1	<b>水質管理体制の強化</b>					<b>施策評価</b>	<b>A</b>	
<b>取り組みの方向性</b> ●良質な水源の確保や保全のため、計画的に水源監視を行います。 ●水源水質の影響を受けにくい適切な浄水処理とモニタリングを継続していきます。 ●水源から蛇口に至るまで高い精度で総合的な水質管理を実施します。		水の安全の根幹をなす水質管理を適正に実施しているため、評価を「A」としました。						
<b>指標</b>								
	<b>指標名</b>	<b>R3年度末 (基準)</b>	<b>前々年度 実績値</b>	<b>前年度 実績値</b>	<b>R4年度 実績値</b>	<b>目標値 (R10)</b>	<b>評価</b>	<b>説明</b>
1-(1)	水源の水質事故数（件）	15件	-	15件	15件	15件	4	適合数/全件数×100
1-(2)	水質基準適合率（％）	100%	-	100%	100%	100%	4	水質事故件数は評価に含めない
1-(3)	市内給水栓平均残留塩素濃度 (mg/L)	0.46	-	0.46	0.46	0.46	4	市内給水栓残留塩素濃度0.1～1.0mg/Lの範囲 と評価
（指標詳細）平均値								
<b>具体的取組</b>								
	<b>取組内容</b>	<b>R4年度 目標</b>		<b>R4年度 実績</b>		<b>前々年度</b>	<b>前年度</b>	<b>達成状況</b>
1-①	関係機関と広域的水源監視・調査を実施します。	淀川水質協議会等と共同し、広域的水源監視を実施します。						4
1-②	定期水質検査を実施します。	オゾン活性炭処理を用いた高度な浄水処理とろ水での計画的な水質管理を実施します。						4
1-③	大阪広域水道企業同等との連携による効果的・効率的な水質管理を実施します。	高価な分析機器が必要な農業類等の検査を企業団受水団で構成される大阪府市町村共同検査を活用し実施します。 農業類の他、有機フッ素化合物（PFOS, PFOA）の検査等も実施し、目標値以下であることを確認しました。						4
（具体的取組達成状況 平均値）								<b>4</b>
<b>今後の方向性</b>								
今後も引き続き取り組んでいきます。								

【評価基準】

①指標

評価基準は以下のとおりとする。

評価	説 明
5	R10 目標値に向けて、実績値が予定以上であるもの。
4	R10 目標値に向けて、実績値が予定どおり順調であるもの。
3	R10 目標値に向けて、実績値が予定より若干の遅れが見られるが R10 に目標の達成が見込めるもの。
2	R10 目標値に向けて、実績値に遅れが見られるが概ね目標達成が見込めるもの。
1	全体的に大幅な遅れや停滞が見られるため、目標達成が困難なもの。
-	指標を設定していないもの。（数値化できないもの。）

②具体的取組

評価基準は以下のとおりとする。

評価	説 明
5	年度目標における実績が、予定を上回るスケジュールや目標以上であったもの。
4	年度目標における実績が、予定どおり順調であったもの。
3	年度目標における実績に、若干の遅れが見られるが、概ね目標を達成できたもの。
2	年度目標における実績に、遅れが見られるため、今後の取組内容や取組方法を検討するもの。
1	取組内容について、抜本的な改善や取組の中止が必要であるもの。

取り組みの方向性に①指標や②具体的取組が複数ある場合は、その平均点を算出し、下表にて評価します。

		具体的取組				
		5	4	3	2	1
指標	5	S	S	A	B	C
	4	S	A	A	B	C
	3	A	A	B	C	C
	2	B	B	C	C	D
	1	C	C	C	D	D
	-	S	A	B	C	D

③施策評価

評価	説明
S	計画以上に目標を達成し、継続して施策を推進するもの
A	計画どおりに目標を達成し、継続して施策を推進するもの
B	概ね計画どおりに目標を達成し、継続して施策を推進するもの
C	実績が目標をやや下回り、取組の強化が必要なもの
D	実績が目標を大きく下回り、抜本的な対策が必要なもの